

令和7年度 インターハイ県予選会諸連絡（ユウケイ武道館(県総合運動公園武道館)）

1. 開 館 8 : 3 0 ~ 2 F 出入口より係の指示に従って出入りする。
入場は生徒優先とする。 役員・補助役員（生徒）は1階より8 : 0 0 入場
※1階は全て土足禁止。裸足で外や2階に行かないこと。入館の際は各校ビニール袋等で下足を管理する。
2. 更 衣 男子：観覧席にて更衣する。 女子：1階更衣室にて更衣する。
※できるだけ更衣を済ませてくることが望ましいが、更衣室を利用する際には密になることを避け、混雑しているときには更衣室外で待機する。
更衣室内に荷物は置かないこと。
3. 貴重品 貴重品及び私物の管理は、各学校で徹底して行う。
4. ゴ ミ ゴミは各自持ち帰りを徹底する。
5. 受 付 団体戦：オーダー表と参加費を支払い、受付とする。オーダー表は短冊を持参する。
学校名・個人名を8枚に記名する。学校名の左上にトーナメント番号を記入する。1枚の大きさはB4の3分の1とし、選手の名前の上に先・次・中・副・大を記入（補欠の選手には記入しない）する。角2封筒（学校名、トーナメント番号、男子・女子を記入）に入れて提出する。
※登録選手の変更は2名までとし、受付時に申し出る。また、自校の最初の試合に5名が揃わない場合は、大会要項に従いオーダーを組む。

個人戦：選手変更のあるなしに関わらず、受付を行う。
補欠の選手1名まで変更可とする。
※追加の部員登録をした場合には審判委嘱負担金を受付時に支払う。
6. 開始 20日：開会式（選手全員会場に整列）
21日：開始式（試合会場の周りに整列）
7. 試合運営 団体戦 トーナメント表に記載した試合順に従って実施する。
原則として男子4試合場（第1・2・3・6試合場）女子2試合場（第4・5試合場）とする。準決勝から男子は1・2試合場、女子4・5試合場同時に開始し、準決勝、決勝の順で実施する。

個人戦 初めに女子の1回戦を6試合場で行い、その後男子4試合場（第1・2・3・6試合場）女子2試合場（第4・5試合場）に分かれて試合を実施する。準決勝から男子は1・2試合場、女子4・5試合場同時に開始し、準決勝、決勝と順位決定の順で実施する。
※トーナメント表を参照
8. オーダー 4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅、副将、大将」に選手を登録する。5人及び4人のチームが4人及び3人のチームと対戦する場合は、登録選手の中で不戦勝ちの選手を試合前に決定する。
9. 選手変更 補欠選手との変更は試合開始までに各試合場に申し出る。
10. 着 装 等 ◎垂れに名前をつける。（名札のない者は出場を認めない）
・目印は各校で準備する。
・面：面紐は結び目より40cm以内とする。（長いものは会場係が切ります）
・小手：小手紐の長いものや手の内皮の大きく破損しているものを使用しない。
・竹刀：検量を行わないので、十分に点検しておく。特に、破損はもとより、鰐・中結いの位置の不適切なものは使用を禁止する。
11. 試合時間 団体：4分 引き分け
※代表者戦：4分（1本勝負）、延長戦は時間を区切って勝敗の決するまで行う。
個人：4分、延長戦は時間を区切って勝敗の決するまで行う。

12. 所作諸法 剣道における所作諸法の徹底を図る。（相互の礼、提げ刀、帯刀等）
①団体戦：チーム礼後の、声掛け等禁止。選手同士の握手・胴突き等の禁止。
②試合終了後に「納刀」を正確に済ませ、その後立ち上がる。
③竹刀を落とした後の拾い方は、片膝を付いて拾い上げる。
13. 感染症対策 ・試合会場への入場については顧問、監督、選手、審判員、補助役員のみとし、
それ以外は2階観覧席を利用する。
・試合時にはマウスシールドまたはマスクを必ず使用する。
・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
14. その他 ①ケガ防止に努める。
②通路に荷物を置かない。
③昼食は観覧席でとること。
④フラッシュ撮影は厳禁とする。
⑤フロア内での撮影は禁止とする。
⑥応援は拍手のみとし、声援は控える。
⑦ロビーでの素振り等は禁止。荷物は引きずらない。（キャスター使用禁止）
⑧応援は座席に座って行う。特に最前列は落下する危険性があるため厳守する。併せて、観覧席の階段に座っての応援は禁止とする。

【会場配置略図】

